



動詞の禁止形「～するな」

この課では「食べるな」「歌うな」「行くな」など、聞き手に禁止をする動詞の形(禁止形)を学びます。

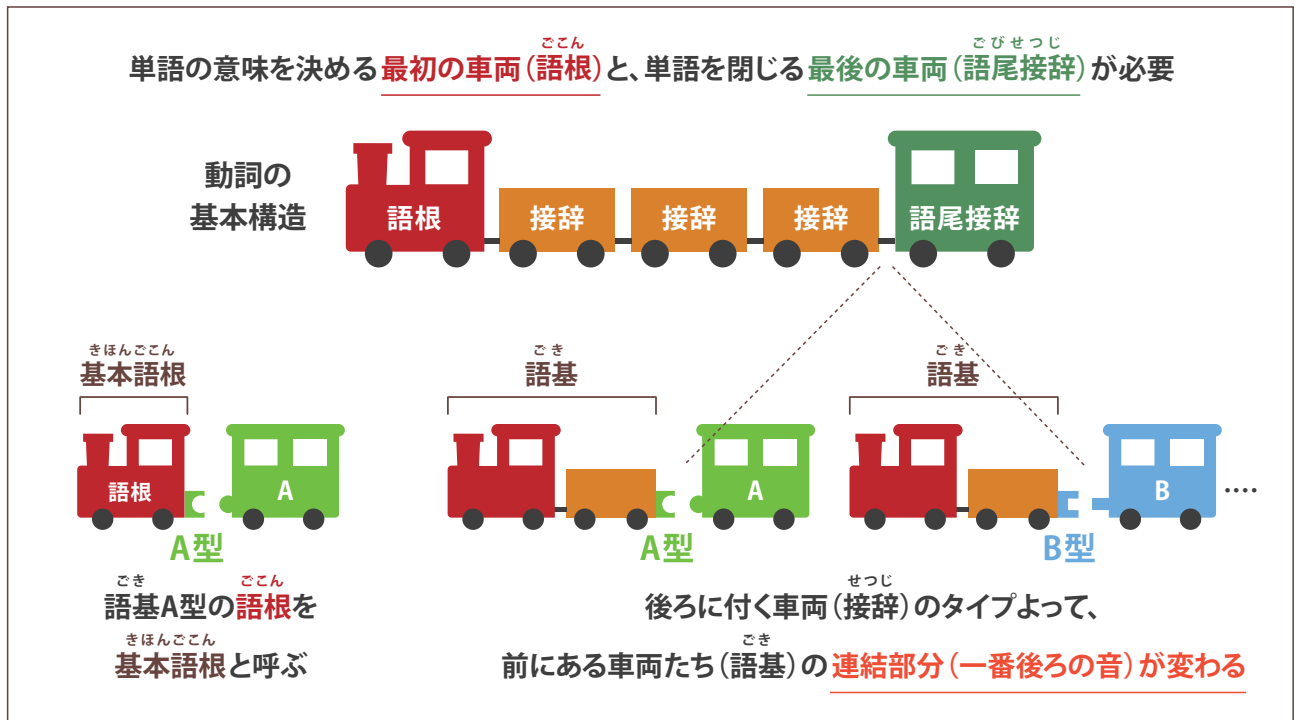
ポイント

1. 動詞の禁止形「～するな」は、語基(A型)に、禁止の語尾 $-(r)una/N^1na$ を付ける。
2. 母音で終わる語基には、 ${}^2runa / Nna$ が付き、子音で終わる語基には $-una$ が付く。

1 動詞の基本構造 (3-5「動詞の基本構造」参照)

動詞を列車にして説明します。動詞は、単語の意味を決める機関車(語根)に、様々な意味を持つ、付属の車両(接辞)がついて作られます。列車が走るためには、最初の機関車(語根)と、単語を閉じられる、最後の車両(語尾接辞)が必要です。

ある車両(接辞)の前にある車両全体を、その接辞に対する「語基」と呼びます³。後ろに付く車両(接辞)のタイプによって、前にある車両たち(語基)の連結部分(一番後ろの音)が変わります。このように、変化する語基のタイプには、A型(基本形)、B型、C型の3種類があります。語基A型の語根を「基本語根」と呼びます。



1 「ん」をNと表します。

2 -は接辞のマークです。

3 語根に直接、語尾接辞が接続する場合には、語基=語根になります。2以降の説明は、すべて語基=語根ですので、語基と語根を読みかえても大丈夫です。

2 禁止形

禁止の接辞 (-r)una / Nna) は、語基A型に接続します。語基が母音で終わる場合には **-runa** を付けます。地域によっては、**-Nna** を付けるところもあります。語基が子音で終わる場合には **-una** を付けます。

例えば「呼ぶ」という動詞は、基本語根 (語基A型) の **abi**⁴ (母音終わり) に禁止の接辞 **-runa** を付けて **abiruna** 「呼ぶな」となります。「待つ」という動詞は、基本語根の **mat** (子音終わり) に禁止の接辞 **-una** を付けて **matuna** 「待つな」となります。

	基本語根 (語基A型)		禁止形
母音終わり	<i>abi</i> 「呼ぶ」	→	<i>abi-runa</i> / <i>abi-Nna</i> 「呼ぶな」
	<i>kuri</i> 「くれる・あげる」	→	<i>kuri-runa</i> / <i>kuri-Nna</i> 「あげるな」
子音終わり	<i>hak</i> 「書く」	→	<i>hak-una</i> 「書くな」
	<i>mat</i> 「待つ」	→	<i>mat-una</i> 「待つな」

2 発音してみよう

禁止形は、動詞の中でも一番シンプルな形を持った活用形の1つです。禁止形と一緒に、様々な動詞の基本語根も、少しずつ覚えていきましょう。

abi -runa abi -Nna ----- 呼ぶ - 禁止 「呼ぶな」	nas -una ----- 産む - 禁止 「産むな」	sin -una ----- 死ぬ - 禁止 「死ぬな」	hak -una ----- 書く - 禁止 「待つな」
mat -una ----- 待つ - 禁止 「待つな」	uig -una ----- 泳ぐ - 禁止 「泳ぐな」	kam -una ----- 食べる - 禁止 「食べるな」	asib -una ----- 遊ぶ - 禁止 「遊ぶな」

⁴ 語根だけの形を、ななめ文字で表します。語根だけでは単語は成り立ちません。

練習問題

(1)-(7) はそれぞれの動詞の^{きほんごこん}基本語根です。

次の動詞の^{きんし}禁止形を予想して書いてみましょう。

(1) *nibu* 「ねむる」 → () 「ねむるな」

(2) *furus* 「殺す」 → () 「殺すな」

(3) *ak* 「歩く」 → () 「歩くな」

(4) *tat* 「立つ」 → () 「立つな」

(5) *fuug* 「(船を)こぐ」 → () 「(船を)こぐな」

(6) *num* 「飲む」 → () 「飲むな」

(7) *tub* 「飛ぶ」 → () 「飛ぶな」
